

びわこの東から

発行：湖東土木事務所
〒522-0071滋賀県彦根市元町4-1
TEL 0749-27-2254(管理調整課)
FAX 0749-23-3531
Email ha34150@pref.shiga.lg.jp

発行に当たり！今年度、組織目標による「見える化事業」の一環で情報誌を発行しています。土木の歴史を交え皆様に熱く伝えますのでどうぞご覧下さい。

10月号 **その時歴史は動く！への招待** → 「三成に過ぎたるもの、島の左近に佐和山の城」を紹介しています。

JR稲枝駅南側の柳川踏切を撤去します。【県道：愛知川彦根線】

事業により目指す効果
踏切による交通渋滞を解消します。
歩行者や自転車の安全を確保します。

工事の取り組みとお願い
現在、迂回路を設けてJR西日本により、線路の下に箱型の構造物をつくる工事を行っています。
しばらくの間、不便をおかけしますがよろしくお祈りします。



着工前の写真



完成予想イメージ

通りやすく
安全な道路が
できるまで、
ご協力を
お願いします。

線路の下に道路を通すため、地下をくり抜く工事を始めました。

芹川河道内の伐木・除草

河川事業の紹介



位置図

実施区間



着手前



完了後

芹川において河道内に繁茂する雑木を伐採しました。実施区間は、JR鉄道橋から河口までの約3kmです。これによって、水の流れの抵抗が少なくなり、河口までスムーズに流れることができます。少しでも、流化能力を高めて市民の安全な生活を確保します。

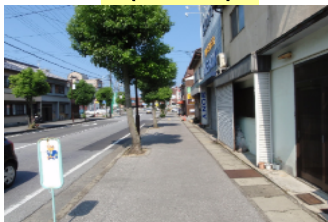
彦根近江八幡線のバリアフリー化が一部完成！歩行者の利便性向上に努めています。

(着手前)

(完了後)

(着手前)

(完了後)



波打った歩道で(片)勾配が急になっていました。
街路樹が大きくなり歩道幅が狭くなっていました。
側溝蓋はガタツキが有り通行しづらい状態でした。

急勾配を改善し、車道は排水性舗装としました。
路肩を縮小・植樹帯は撤去し歩道幅を広くしました。
ガタツキは側溝を暗渠化し、通行しやすくしました。

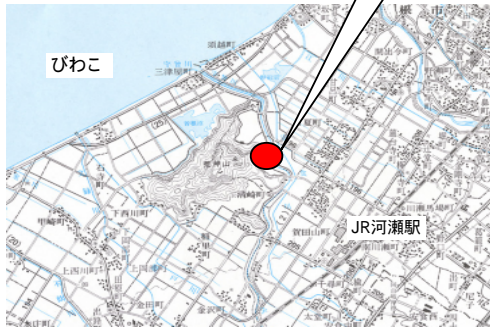
平成12年 交通バリアフリー法の施行により道路管理者や交通管理者が協力しバリアフリー化基準に適合するよう歩道を整備していくことになりました。
湖東土木事務所では現在、彦根市バリアフリー基本構想に沿って県道のバリアフリー化を順次進めている所です。彦根近江八幡線の大東町交差点～キャッスルロードまで約800m区間を平成20年度から3カ年計画で整備を進めています。
平成20年度は京町～立花町交差点の間300mが完成し、今年度は立花町からキャッスルロードまでの300m間で工事を実施します。

危機管理

滋賀県防災訓練が彦根市の荒神山公園で行われます！

10月25日(日)午前

訓練場所



1964年新潟地震



2004年新潟中越地震



岡山県美作市田原

防災訓練の当日訓練は土木事務所内も上記に相当する被災を想定した大規模地震初動訓練(情報伝達訓練)を実施します。

砂防事業の紹介

多賀町一ノ瀬に完成した栃谷砂防えん堤です。

砂防えん堤は、安全・安心に寄与しています。



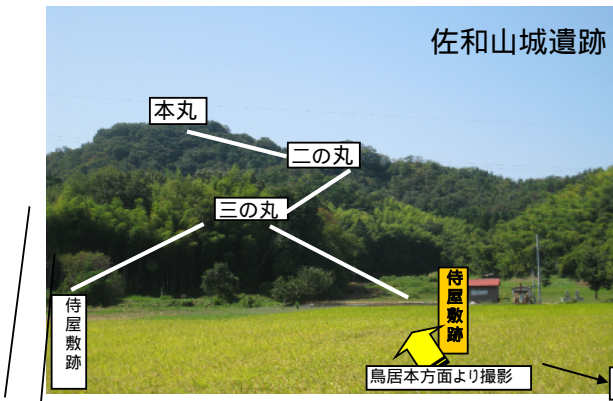
砂防えん堤は、土石流による人命財産への被害を減らすために設置するものです。栃谷砂防えん堤は透過型であり、写真中央の透過部から普段の川の水や砂などは流します。しかし、ひとたび土石流が発生した場合は透過部に石や木が詰まって、土石流と流木が下流に流れないようにする仕組みです。

【栃谷砂防えん堤】えん堤の高さ8.5m、幅36.8m、土石流を止められる量3,190m³、工事費約6千5百万円

特集・その時歴史は動く！

佐和山城の遺構は今・・・

お城の石積みはどこへいったのか？ 百軒橋は存在したのか？



侍屋敷跡は谷地形にて桐文銅製紐金具・銅銭・鉄砲弾などが出土しています。

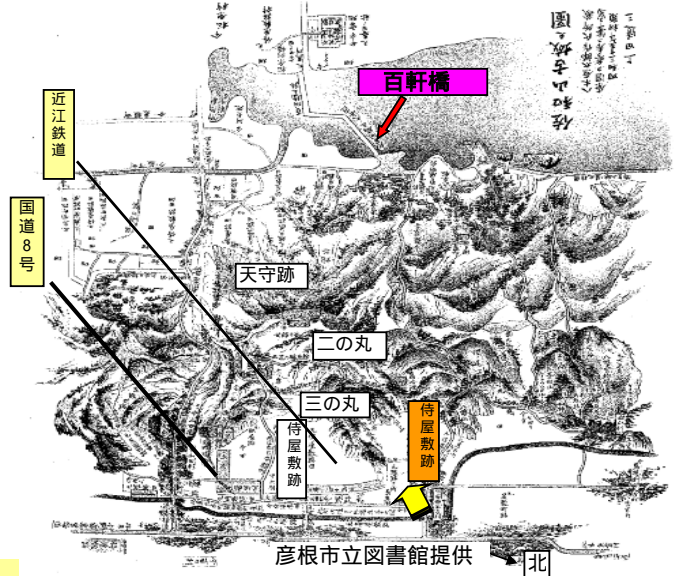
硬岩(チャート)をくり抜いてまで堀を築いたことが調査により判明しています。

北国街道さらには中山道からの攻撃、防御のため、お城の位置がボトルネックと云える最適な地形ではないかと推察されます。

佐和山城の石積みは慶長9年(1604)から彦根城へ移されたものと考えられます。(慶長9年彦根城築城開始)

百軒橋は現在の清涼寺～松原(当時は内湖)にかけて架けられていたものと考えられます。(びわ湖を水運とし大津や京への物資輸送路でした)

七月二十五日(土)二
十六日(日)地元現地
説明会資料より



近江鉄道
国道8号

彦根市立図書館提供

編集後記

(財)県文化財保護協会小島さんから島左近は三の丸に住んでいたとも云われている・・・との話を聞かせていただきました。(NHK天地人で佐和山城が炎上するシーンを見て三成の無念さがゾーンと伝わります。(事務局長)

所長コメント

この広報紙の目的は各施設の紹介に加えて地域や住民との関わりもあります。また、地域の歴史紹介もその一コマです。そう言う意味で職員に新しい「土木」を目指すよう意識付けしています。